

ドクモスカウト2011募集要項

- 内容：2011年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラー育成のお手伝いをさせていただきます。
- 応募条件：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限ります。
- 選考方法：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラーがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- 応募方法：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。



ケータイからの応募はコチラ→

さらに詳しく… つり情報

検索



▲盆休みと好調ぶりが伝わって満船状態



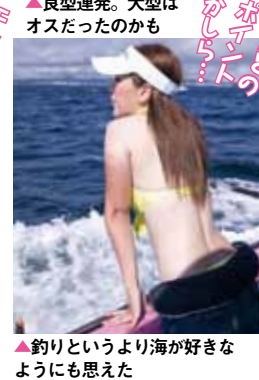
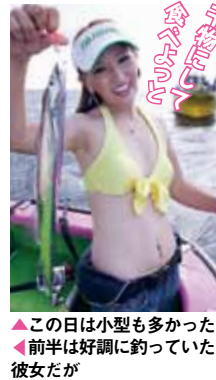
前半の調子だったらツ抜けはできると思ったのに、とても悔しいかぎりです。それでも電動リールがうなりを上げるタチウオの強い引き、美しい魚体には魅せられっぱなしです。2ヶタ釣りを目指してまた釣行に励みます。

静恵の感想

12時過ぎに帰港して、「釣り足りないから午後アジも乗る」と言ってきたと乗船準備を整える彼女。沖釣りにハマっているという話は十分理解できました。



▲良型連発。大型はオスだったのかも



▲この日は小型も多かった
▲前半は好調に釣っていた彼女だが

▲釣りというより海が好きなのにも思えた

ウオ船団が形成される。水着姿で次々とタチウオを釣る彼女はやはり注目の的。いかにも真夏の船上らしい光景だろう。時間がたつにつれて気むずかしくなるのがタチウオの常。アタリがあってもなかなか食い込んでくれないらだちを抑えながら釣り続ける彼女。後半は苦戦したようで結局釣果は9本。どうして「前回も9本、どうしても2ヶタを超えられない」と悔しがることしきり。トップは23本だったのが、全体としては中位の成績。

小川丸船長の目 Captain

小川 貴光船長 17点 ●見た目以上(失礼)のテクニックに感心しました。休まず釣り続けたことも評価できます。

採点者の目 Marker

カメラ担当 井坂 英樹 18点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)

●A:情熱度…釣り全般に対する情熱 ●B:上達度…実際に体験した釣りのもの、取材当日の上達度
 ●C:知識度…釣りに関する経験、知識 ●D:センス…釣りのセンス ●E:お騒がせ度…船の中でムードメーカーであったか、元気だったか ●F:釣果…船中の釣果に対して平均か否か

●A:情熱度 A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:3 ●D:4 ●E:5 ●F:3

●B:上達度 A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:5 ●D:4 ●E:4 ●F:4

●C:知識度 A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:5 ●D:4 ●E:4 ●F:4

●D:センス A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:5 ●D:4 ●E:4 ●F:4

●E:お騒がせ度 A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:5 ●D:4 ●E:4 ●F:4

●F:釣果 A~Fの項目30点 満点で採点 ●A:4 ●B:4 ●C:5 ●D:4 ●E:4 ●F:4

ドクモスカウト事務局代表 徳永 隆也 24点
 評価 ●週3回は船に乗っているというだけあって、この世で一番沖釣りにハマっている女性だと思ふ。経験はまだ1年ながら、タックルの扱いや釣り方は堂々に入っている感じ。先行きを楽しみな次世代型アングラーだ。

つり情報代表 本誌発行人 根岸 伸之 24点
 評価 ●タチウオは経験豊富なせいか、スタッフがあドバイスすることは何もなかったのはさすが。ただ釣り方が一本調子、後半苦戦していたのもそのせいだろう。まあ、レベルは並以上だったから十分です。

総合得点 Score 83点
 ※この点が一次審査の持ち点になります 100点満点

●乗船メモ 三浦半島 京急大津港 小川丸 ▼046-843-0053(詳細は巻末の情報欄参照)。
 ▼料金=5,500円(エサ、氷付き)。他にワラサ、午前午後アジ、夜メバル乗合へも



今回スポットライトを浴びました

好きな海釣りにハマって



●この日最大は指4本サイズ

今回登場していただいた高橋静恵さんは以前、本誌の表紙を飾ったこともある方。まだ21歳の若さながら本格的に沖釣りにハマっている模様。釣りの腕前も徐々に上達し、ベテランに肩を並べることも少なくないらしい。そんな彼女に挑戦していただくのは現在東京湾内で釣れ盛っているタチウオ。船宿は京急大

女性読者モデルオーディション

ドクモスカウト DOKUMO 2011



参加者 大募集 DokuMo Scout 2011

第1次審査 vol.2 東京湾 観音崎沖のタチウオ 三浦半島 京急大津港 小川丸

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



2nd チャレンジヤー 高橋 静恵さん たかはし しずえ

- プロフィール
- 1989年4月生まれ21歳
- 神奈川県横浜市在住
- 職業 フリーター
- 趣味 釣り、スキューバダイビング

●タチウオは経験豊富。釣り場に着いたとたん、やる気満々の彼女



●釣りが好きで最近、海に近い横浜に引っ越しました。沖釣りはなんでも好きですが、とくに今はアマダイに夢中。以前から気になっていた「ドクモ」の企画、思い切っで応募してみました。

今回登場していただいた高橋静恵さんは以前、本誌の表紙を飾ったこともある方。まだ21歳の若さながら本格的に沖釣りにハマっている模様。釣りの腕前も徐々に上達し、ベテランに肩を並べることも少なくないらしい。そんな彼女に挑戦していただくのは現在東京湾内で釣れ盛っているタチウオ。船宿は京急大津港。観音崎沖の釣り場に到着し、さっそく釣り開始。すでにタチウオは深場に落ちつつあり、小川丸ではライトではなくオモリ80号のノーマルスタイルでの釣りとなっている。水深は50メートル。底から15メートルまでを狙えとの指示。右舷ミヨシで小型が上がったのが皮切り、なんと2番目に掛けたのは彼女だった。今期、すでにタチウオには3ど釣行しているというだけに、余裕のヤリトリで80センチ級の本命を釣り上げた。周囲には湾奥から三浦半島周辺から集まった40隻ほどのタチ

DOKUMO SCOUT VOL.2 KANONNAKE